

平成30年7月23日

野々市市議会議員 様

(報告者)

会派名 (又は) 考える会  
 代表者 (議員名) 五十川 員申



## 政務活動報告書

下記のとおり政務活動 (調査研究、研修、要望・陳情) を実施したので、報告します。

期 間	平成30年 7月 17日から 平成30年 7月 20日まで
視察、研修、要望・ 陳情の場所	ゼビオアリーナ仙台周辺施設 (宮城県仙台市太白区あすと長町 1-4-10) 八戸市役所 (青森県八戸市丸 1-1-1) 函館アリーナ (北海道函館市湯川町 1-32-2)
参加者氏名	五十川 員申
目 的 (調査・視察事項)	(ゼビオアリーナ仙台周辺施設) ゼビオアリーナ仙台的概要と利用状況について (八戸市役所) 八戸市多目的アリーナの概要と建設決定の経緯について (函館アリーナ) 函館アリーナの概要と建設までの経緯について
調査・視察概要	(目的、内容、結果、所感等について記入) <函館アリーナ> 整備区域 3.63ha 市民会館 昭和45年 駐車場 市民体育館 昭和50年 (野々市はS54年頃?) 駐車場 湯の川公園 (都市公園) 3つをまとめて (市民体育館を壊して) アリーナと駐車場を作った 21年6月 (提案書が出たのが12月) 懇話会 現在地での増改築整備が望ましい

22年1月(提言書)

市議会総務常任委員会からも

新築あるいは新アリーナを増築整備すべき

7月素案を公表

8月パブコメ実施

23年9月 基本計画

23年10-12月 プロポーザルにより設計者を公募10社

利用料金(上限)決定

指定管理者

1平方5トンまで対応

誰もが使いやすいユニバーサルデザインの視点で整備

タラフレックス 競技性 メンテナンス性に優れた床材

荷重や磨耗に強い為、土足利用も可

個人利用 2000万

商業利用 4000万

駐車場収益も大きい 施設利用者は2時間まで無料

コンベンションの利用内容によっては

産業振興などの課や産業振興課内のスポーツ振興を担当するセクションが、マーケティング(コミッション)などを行ったり

運用促進を行なっているが

ここは、教育委員会 教育長がトップとなる所の組織となるが庁内の横断的な活動をするには?

当初は、既存施設を活かしつつ新築で増設という考えだった

なぜ、既存施設を壊してまとめた大きな土地で新築という方針に変わったのか?

平成23年市長の一声 交流人口を増やすためには必要

<仙台>

東日本放送にネーミングライツ

フットサルコート以外は、空調ついている

テニス カーペット 2億円弱 10時くらいまで

フットサル 人工芝 2億円 2時まで

バスケット タラフレックス コンクリに直張り 設備込み 1億円  
12時

グランスポーツ（スポーツクラブワンフロア 1000坪、現在1200坪に  
増床、今後さらに200坪増床予定、1階は2000坪のスポーツ洋品店、  
2階のスポーツクラブ以外、屋上は駐車場）11時

ゼビオはあくまでも不動産的回し方、ハードに対してテナントで入れ  
ている。

建設時にテナントで入りたい人を交えて協議。

収益を上げているのは、テニスコート>バスケコート>フットサルコ  
ート

市は、防災拠点としているので、その部分で補助金をもらっている

横丁併設 7年間100% 坪1万円

敷地内は、市の歩行者専用道路、公園がある。借地している土地キワ  
ギリギリまで建物を建てられている。

駐車場の値段を1時間1000円に上げている。

建物の固定資産税免除

土地は借地なのでかかってない

同じ敷地内に市民病院、有料老人ホーム

今後はテレビ局も出来る。

仙台には1万人入る場所があまりない（ちょっと遠い所にしかない）

<八戸市>

アイスホッケー 競技人口 全国1位

第一回を含め国内最多12回の冬季スケート国体の開催

全国でアイスホッケーリンクが不足している

屋内スピードスケート場 整備中 2019年秋頃供用開始予定

「集」「活」「憩」「学」「住」

という5つのゾーニングをしている。

新しい体育施設は、「集」のゾーンに作る

「集」ゾーンとは

近くから、遠くからたくさんの人を集めることを狙った、核となる施設立地ゾーン

区画整理

総事業費二百四十億円

施行期間平成9年度から平成40年度（清算期間5年含む）

全体では人口減少中 駅前は年間100人ほど微増中

ゼビオー本釣り ホッケーチーム 東北フリーブレイズの運営会社だったから

土地は、市が取得、無償提供

上物は、XSM社が建設管理運営

上物だけ固定資産税がかかるので市に納税 30年 1000万円～1500万円

年間利用枠として使用料負担30年（年間25000時間）一億円→市民に対して貸す場合の値段設定はこれから市場調査を行って調整していく

保留地購入 八億二千万円

30年後施設を無償譲渡

体育施設を中心市街地活性化の中に入れて考えていく

スピードスケートの靴に対して子供達に毎年購入補助を出している

アイスホッケーのスティックは3年に一度取得できる補助を出している

レンタルのスピードスケートシューズも定期的に新しいものに交換している

	<p>体育施設 歴史ストーリーが大事</p> <p>スポーツ推進計画を作る（国から指導 努力義務 野々市にはない）</p> <p>平成 20 年まで教育委員会 市民課部局に移管</p> <p>&lt;全体のまとめ&gt;</p> <p>仙台 ローコストで体育施設が作れる 夏は相当暑い、また見たままのテント構造ではダメ（積雪量などを考慮）</p> <p>八戸 区画整理の目玉 2500時間買い取ってやる</p> <p>函館 立派だったが、資金の出どころ（合併特例債）ランニングコストを見ると問題も感じる デザイン重視で円形の建物となっており角が使えない 本市においてもデザインだけを重視して結果使いづらいものにならないように、本当の意味でデザインされた建物を作る必要がある。 教育委員会が関わっているので難しい</p>
備 考	

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。